



Your Reliable Partner

LG-80シリーズ/LP-80シリーズ

(LG-80, LG-81, LP-80, LP-81)

Intel Pentium 4 システムボード
Socket 775

ユーザーマニュアル

著作権と補償について

このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なく変更される場合があります。本マニュアルの作成には万全を期しておりますが、万一誤りが合った場合はご容赦願います。

本製品の特定用途への適用、品質、または商品価値に関して、明示の有無に関わらず、いかなる保証も行いません。このマニュアルや製品上の表記に誤りがあったために発生した、直接的、間接的、特殊な、また偶発的なダメージについて、いかなる保証も行いません。

このマニュアルに記載されている製品名は識別のみを目的としており、商標および製品名またはブランド名の所有権は各社にあります。

このマニュアルは国際著作権法により保護されています。本書の一部または全部を弊社の文書による許可なく複製または転用することは禁じられています。

マザーボードを正しく設定しなかったことが原因で発生した故障については、弊社では一切の責任を負いかねます。

目次

第 1 章	はじめに	1-1
1-1.	機能と仕様.....	1-1
1-2.	レイアウトの図表.....	1-3
第 2 章	ハードウェアのセットアップ	2-1
2-1.	マザーボードのインストール.....	2-1
2-2.	CPU、ヒートシンク、ファン部品のインストール.....	2-2
2-3.	システムメモリの取付け.....	2-4
2-4.	コネクタ、ヘッダ、スイッチ.....	2-6
	(1). ATX 電源入力コネクタ.....	2-6
	(2). FAN コネクタ.....	2-7
	(3). CMOS メモリクリアリングヘッダ.....	2-8
	(4). ウェークアップヘッダ.....	2-9
	(5). シリアル ATA コネクタ.....	2-10
	(6). フロントパネルオーディオ接続ヘッダ.....	2-11
	(7). フロントパネルスイッチとインジケータヘッダ.....	2-12
	(8). 追加 IEEE1394 ポートヘッダ.....	2-13
	(9). 追加 USB ポートヘッダ.....	2-14
	(10). 内部オーディオコネクタ.....	2-15
	(11). フロッピーと IDE ディスクドライブコネクタ.....	2-16
	(12). PCI Express X16 スロット.....	2-17
	(13). PCI Express X1 スロット.....	2-17
	(14). バックパネルのコネクタ.....	2-18
第 3 章	BIOS について	3-1
第 4 章	ドライバのインストール	4-1
4-1.	セットアップアイテム.....	4-2
付録 A.	トラブルシューティング	A-1
付録 B.	テクニカルサポートの受け方について	B-1



第1章 はじめに

1-1. 機能と仕様

1. CPU

- 1066/800 MHz FSB を搭載した Intel® 90nm Pentium 4 LGA775 プロセッサ用に設計
- Intel® ハイパースレッドテクノロジー (Hyper-Threading Technology) / XD-bit / EM64T をサポート
- Enhanced Intel® SpeedStep テクノロジーをサポート

2. チップセット

- Intel® 945P / Intel® ICH7 Express チップセット (LP-80/LP-81 専用です)
- Intel® 945G / Intel® ICH7 Express チップセット (LG-80/LG-81 専用です)

3. メモリ

- 2つの 240 ピン DIMM ソケット
- デュアルチャンネル DDR2 667/533 非 ECC バッファなしメモリをサポート
- 最大 2GB の最大メモリ容量をサポート

4. グラフィックポート (LG-80/LG-81 専用です)

- 統合された Intel グラフィックスメディアアクセラレータ 900 は、DirectX 9 をサポートします。
- ADD2+ card をサポートします

5. PCI Express x16 グラフィックス

- 1方向あたり最大 8GB/s の、AGP8X の 3.5 倍の帯域を達成

6. SATA 3G

- 4ポートのシリアル ATA 3.0Gb/s データ転送速度をサポート
- SATA AHCI をサポートし、ネイティブ・コマンド・キューとネイティブ・ホットプラグを実現

7. オーディオ

- オンボード 7.1 チャンネルオーディオコーデック
- オート・ジャック・センシングとオプティカル S/PDIF 出力をサポート (LP-80/LP-81 専用です)

8. IEEE 1394 (LG-80/LP-80 専用です)

- 2ポート IEEE 1394 に 100/200/400 Mb/秒の転送速度で対応

9. Gigabit LAN

- オンボード 10/100/1000M PCI-E コントローラ

10. ABIT 開発元

- ABIT SoftMenu™ テクノロジー

11. 内部 I/O コネクタ

- 1x PCI-Express x16 スロット
- 2x PCI-Express x1 スロット
- 1x PCI スロット
- 1x フロッピーポートが 2.88MB までサポート
- 1x Ultra DMA 100/66/33 IDE コネクタ
- 4x SATA コネクタ
- 2x USB ヘッダ
- 1x IEEE 1394 ヘッダ (LG-80/LP-80 専用です)
- 1x FP-Audio ヘッダ
- 1x CD-IN ヘッダ

12. 背面パネル I/O

- 1x PS/2 キーボード、1x PS/2 マウス
- 1x シリアルポートコネクタ、1x パラレルポートコネクタ
- 1x AUDIO1 コネクタ (サラウンド左/サラウンド右、リアレフト/リアライト、センター/サブウーファ)
- 1x AUDIO2 コネクタ (マイク入力、ライン入力、ライン出力)
- 4x USB コネクタ
- 1x RJ-45 LAN コネクタ
- 1x IEEE 1394 コネクタ (LG-80/LP-80 専用です)
- 1x VGA コネクタ (LG-80/LG-81 専用です)
- 1x S/PDIF アウトコネクタ (LP-80/LP-81 専用です)

13. その他

- mATX フォームファクタ (245mm x 245mm)

* 本書に記載されている仕様および情報は予告なしに変更されることがあります。



第2章 ハードウェアのセットアップ

取付けを開始する前に：ATX12Vの電源装置のスイッチをオフにする(+5Vスタンバイ電源を完全にオフにする)、または取り付ける前に電源コードを外す、またはコネクタやアドオンカードのプラグを抜く、以上のことを忘れないでください。さもないと、マザーボードコンポーネントまたはアドオンカードが故障したり破損する可能性があります。

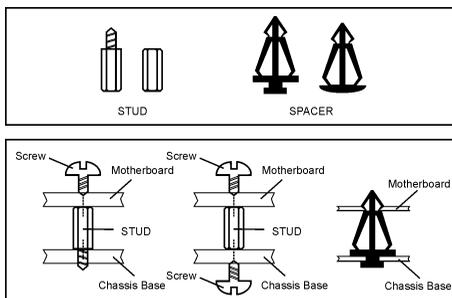
2-1. マザーボードのインストール

ほとんどのコンピュータシャーシには、マザーボードを安全に固定し、同時に回路のショートを防ぐ多数の穴のあいた基板があります。マザーボードをシャーシの基板に固定するには次の2つの方法があります。

1. スタッドを使用する
2. スペーサーを使用する

原則的に、マザーボードを固定する最善の方法はスタッドを使用することです。スタッドを使用できない場合にのみ、スペーサーを使ってボードを固定してください。マザーボードを注して見ると、多くの取り付け穴が空いているのがわかります。これらの穴を基板の取り付け穴の位置に合わせてください。位置をそろえた時にネジ穴ができれば、スタッドとネジでマザーボードを固定できます。位置をそろえてもスロットしか見えない時は、スペーサーを使ってマザーボードを固定します。スペーサーの先端をもってスロットに挿入してください。スペーサーをすべてのスロットに挿入し終わったら、マザーボードをスロットの位置に合わせて挿入してください。マザーボードを取り付けたら、すべてに問題がないことを確認してからコンピュータのケースをかぶせてください。

注意：PCB サーキットのショートを防ぐために、金属製ボルトとスペーサーがすでにシャーシ台にしっかり取り付けられ、マザーボード上に一直線に合うような取り付け穴がない場合、それらのボルトとスペーサーを取り外してください。



2-2. CPU、ヒートシンク、ファン部品のインストール

接触ピンを保護するため、以下にご注意ください。

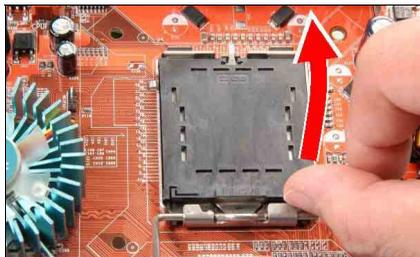
1. 最大20周期のCPUインストールをお勧めします。
2. 指やその他の物で接触ピンに触れないでください。
3. CPUを使用していない場合は、常にキャップをかぶせてください。



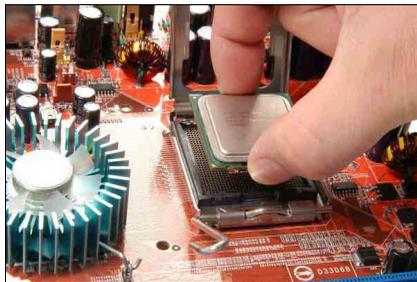
1. ソケットのレバーフックが左側になるようにボードを置いてください。左手の親指と指先でレバーフックを持ち、リテンションタブから引いてください。



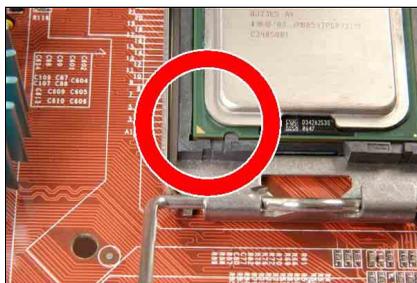
2. レバーを完全に開く位置に回転させてください。



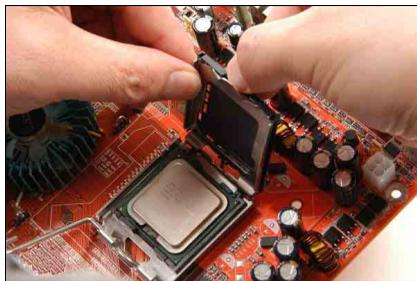
3. プレートの右下に右手の親指をあてがい、完全に開く場所に持ち上げてください。



4. 右手の親指と指先でCPUパッケージを持ってください。必ず基板の端を持ち、ピン1の標示が底部左側を向くようにしてください。ソケットの位置を確認し、CPUパッケージをソケットにまっすぐ置いてください。



5. CPUがソケットにしっかりと固定されているかどうかを目で確認してください。配列キーはパッケージのノッチにある必要があります。



6. 左手でプレートを持ち、右手の親指でキャップを剥がします。

キャップは接触ピンを保護する上で非常に大切です。ピンが曲がらないよう、操作やテストの後はキャップをかぶせておいてください。



7. CPU パッケージのプレートを上げます。プレートを押しながら、レバーをはめてください。

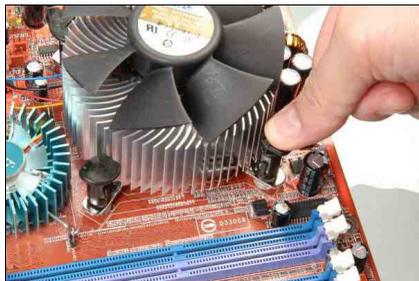


8. リテンションタブ下のフックでレバーを固定してください。

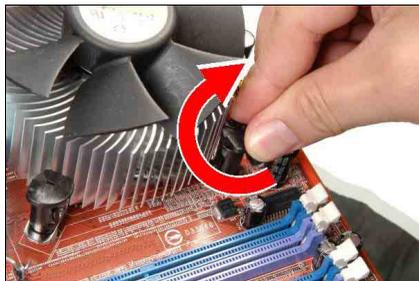


9. ヒートシンクとファン部品をソケットに置いてください。4つの締め具をマザーボード上の4つのマウントホールに向けて並べます。

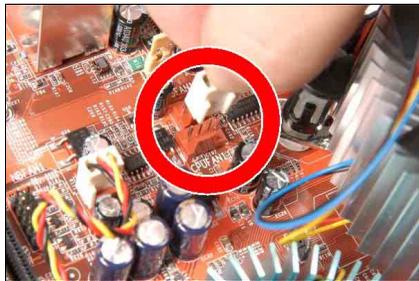
ヒートシンクとファン部品のインストールに関する詳細は、お買い上げのヒートシンクとファン部品の取扱説明書をご覧ください。



10. 4つの締め具をマウントホールに押し込んでください。



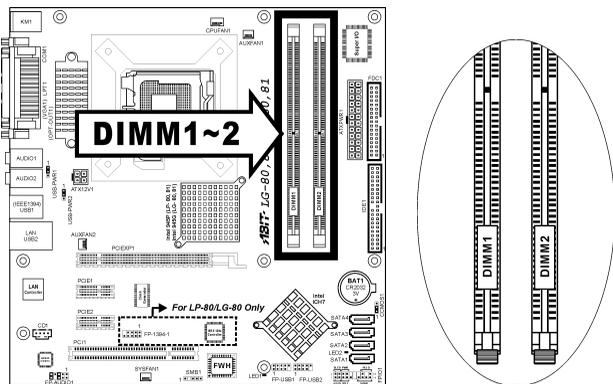
11. 締め具を時計回りに回転させ、ヒートシンクとファン部品を所定の位置に固定してください。



12. 4ピンの電源プラグをヒートシンクとファン部品からCPU FAN コネクタに接続します。

2-3. システムメモリの取付け

本マザーボードは、2GB までのメモリ拡張サイズを持つ、デュアルチャネル DDR 667/533 メモリモジュール用に、2つの 240 ピン DDR DIMM スロットを提供します。

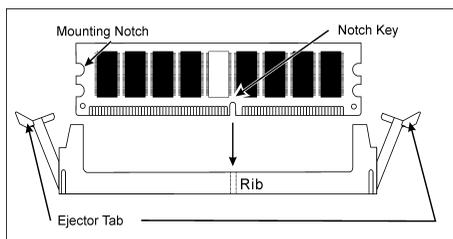


バンク	メモリモジュール	合計
Bank 0, 1 (DIMM1)	256, 512MB, 1GB	256MB ~ 1GB
Bank 2, 3 (DIMM2)	256, 512MB, 1GB	256MB ~ 1GB
システムメモリの合計		256MB ~ 2GB

注：メモリモジュールを取り付けたり、取り外したりした後は、ハードウェアや BIOS セットアップの必要はありませんが、互換性に関する問題が生じた場合はまず CMOS メモリを消去してください。

メモリモジュールの取り付け/取り外しを行う前に、コンピュータの電源をオフにして AC 電源コードを抜いてください。

1. ボードの DIMM スロットを探します。
2. DIMM モジュールのコネクタに触らないようにしながら、その両端をそっと持ちます。
3. モジュールのノッチキーをスロットのリブに合わせます。



4. モジュールをスロットにしっかりと押しすと、スロットの両側のイジェクタタブが取り付けノッチにカチッと音を立てて自動的に固定されます。DIMM モジュールを差し込むときに無理な力を入れしないでください。DIMM モジュールは一方方向にだけフィットするようになっています。
5. DIMM モジュールを取り外すには、スロットの 2 つのイジェクタタブを同時に外側に押してから、DIMM モジュールを取り出します。

注意: 静電気はコンピュータの電気コンポーネントやオプションのボードを破損する恐れがあります。これらの手順を開始する前に、アースされた金属物質に軽く触れることで、静電気を確実に放電してください。

2-4. コネクタ、ヘッダ、スイッチ

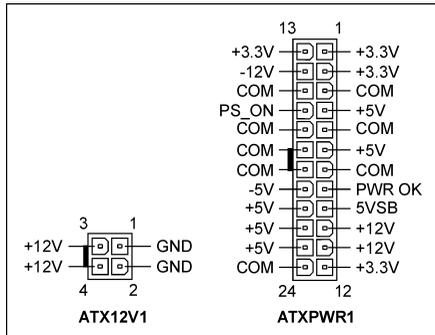
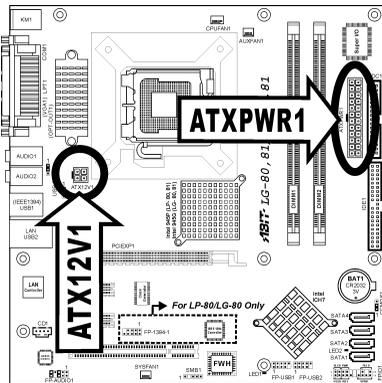
ここでは、コネクタ、ヘッダ、スイッチと、その接続方法が全て表示されています。コンピュータのシャーシ内に全てのハードウェアを取り付ける前に、全ての項を読んで必要な情報を頭に入れてください。参照のために、ボード上のコネクタとヘッダの全ての位置に対応する完全な拡大配置図を第1章に示します。

警告: 周辺機器やコンポーネントを追加したり取り外す前に、必ずコンピュータの電源をオフにしてから、ACアダプタのプラグを抜いてください。さもなければ、マザーボードや周辺機器が重大な損害をこうむることもあります。全てを十分にチェックした後で、AC電源コードのプラグを差し込んでください。

(I). ATX 電源入力コネクタ

このマザーボードは ATX12V 電源接続のための 2 つの電源コネクタを提供しています。

注: この 24 ピン電源コネクタ “ATXPWR1” は旧 20 ピンタイプに対応しています。その際、ピンの方向に注意してください (ピン 11、12、23、24 は未接続のままとなります)。

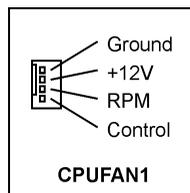
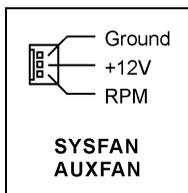
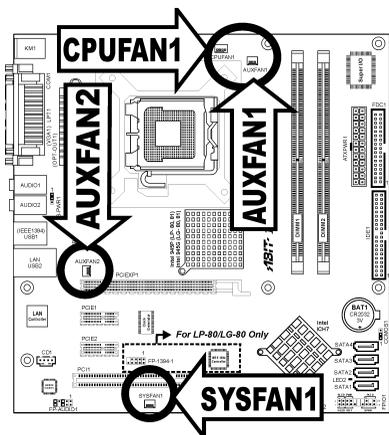


(2). FAN コネクタ

これらコネクタはそれぞれシステムにインストールされたクーリングファンに電源を供給します。

- **CPUFAN1** : CPU ファン
- **SYSFAN1** : システムファン
- **AUXFAN1, AUXFAN2** : 補助ファン

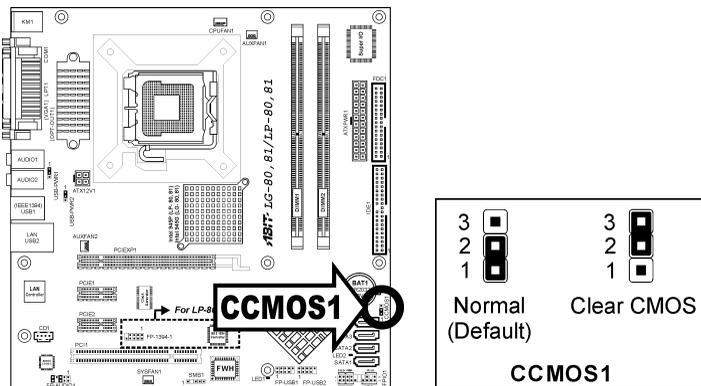
警告: これらのファンコネクタはジャンパではありません。これらのコネクタにジャンパキャップをかぶせないでください。



(3). CMOSメモリクリアリングヘッダ

このヘッダはジャンパキャップを使用して CMOS メモリを消去します。

- 短いピン 1-2 (デフォルト) : 標準操作
- 短いピン 2-3 : CMOS メモリの消去



警告 : CMOS メモリをクリーニングする前に、まず(+5V スタンバイ電源を含め)電源をオフにしてください。さもなければ、システムが異常な動作を引き起こしたり故障する可能性があります。

(4). ウェークアップヘッダ

- **USB-PWR1 :**

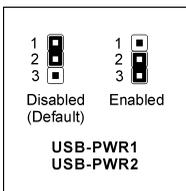
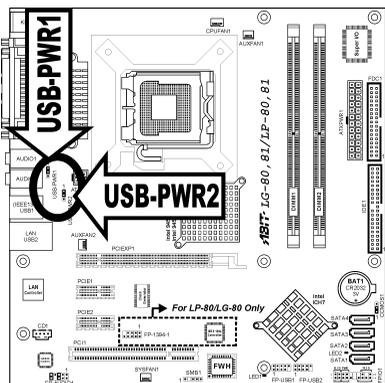
ピン 1-2 ショート (デフォルト) : USB1 ポートでのウェークアップ機能を無効にします。

ピン 2-3 ショート : USB1 ポートでのウェークアップ機能を有効にします。

- **USB-PWR2:**

ピン 1-2 ショート (デフォルト) : USB2 ポートでのウェークアップ機能を無効にします。

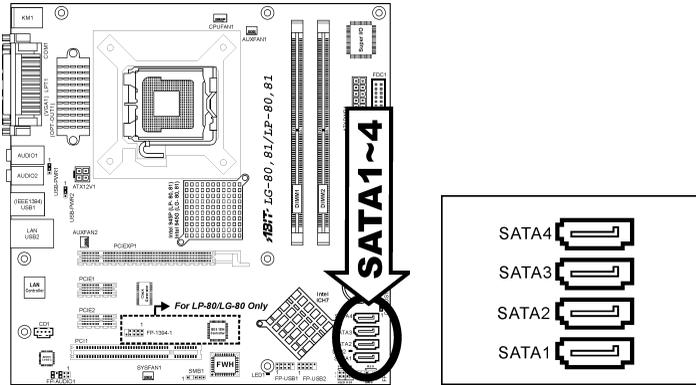
ピン 2-3 ショート : USB2 ポートでのウェークアップ機能を有効にします。



(5) シリアルATA コネクタ

これらのコネクタは、シリアル ATA ケーブルを介して、各チャンネルに 1 つのシリアル ATA デバイスを接続するために提供されています。

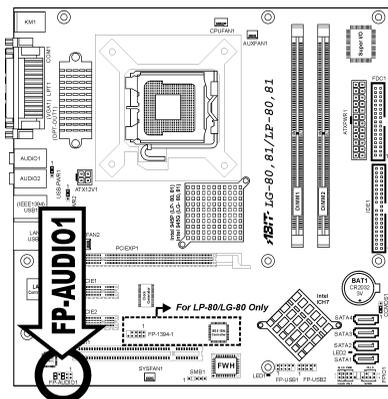
SATA の機能モードの設定方法についての詳細は、BIOS メニューをご覧ください。



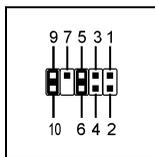
(6). フロントパネルオーディオ接続ヘッダ

このヘッダは、フロントパネルのオーディオコネクタへの接続を提供します。

- フロントパネルでオーディオコネクタを使用するには、このヘッダのすべてのジャンプを取り外し、シャーシに付属する延長ケーブルによってフロントパネルに接続します。
- リアパネルでオーディオコネクタを使用するには、延長ケーブルを切り離し、ジャンプをピン 5-6 とピン 9-10 の後ろに取り付けます（デフォルトの設定）。



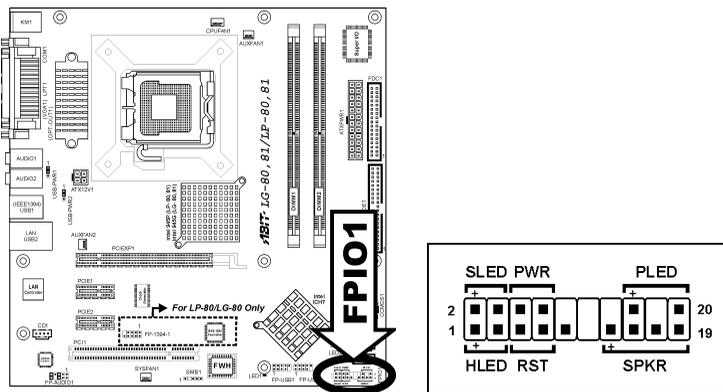
ピン番号	ピン割り当て	ピン番号	ピン割り当て
1	オーディオ Mic.	2	アース
3	オーディオ Mic. バイアス	4	VCC
5	スピーカーアウト右チャンネル	6	スピーカーアウト右チャンネル復帰
7	X	8	NC
9	スピーカーアウト左チャンネル	10	スピーカーアウト左チャンネル復帰



(7). フロントパネルスイッチとインジケータヘッド

このヘッドは、スイッチと LED インジケータをシャーシ前面パネルに接続するために使用されます。

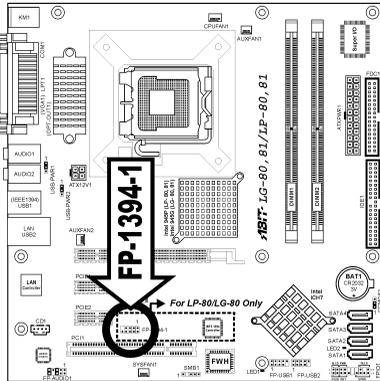
電源 LED のピン位置と方向に注してください。下図のピンに一直線に並んでいる“+”のマークは、LED 接続のプラス極を表します。これらのヘッドに間違いなく接続してください。方向を逆に接続しても LED が点灯しないだけのことで、スイッチの間違った接続はシステムの故障の原因となることがあります。



- **HLED (ピン 1, 3) :**
シャーシの前面パネルの HDD LED ケーブルに接続します。
- **RST (ピン 5, 7) :**
シャーシの前面パネルのリセットスイッチケーブルに接続します。
- **SPKR (ピン 13, 15, 17, 19) :**
シャーシのシステムスピーカケーブルに接続します。
- **SLED (ピン 2, 4) :**
シャーシの前面パネルのサスペンド LED ケーブルに接続します(ケーブルがある場合)。
- **PWR (ピン 6, 8) :**
シャーシの前面パネルの電源スイッチケーブルに接続します。
- **PLED (ピン 16, 18, 20) :**
シャーシの前面パネルの電源 LED ケーブルに接続します。

(8). 追加 IEEE1394 ポートヘッダ

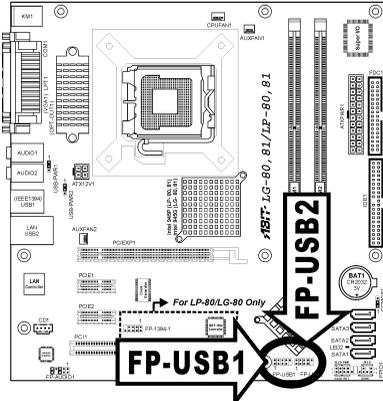
これらのヘッダは延長ケーブルとブラケットを通して、それぞれ1つの追加 IEEE1394 ポートを提供します。



	ピン番号	ピン割り当て	ピン番号	ピン割り当て
	1	TPA0 +	2	TPA0 -
	3	アース	4	アース
	5	TPB0 +	6	TPB0 -
	7	+12V	8	+12V
	9	NC	10	アース

(9). 追加 USB ポートヘッダ

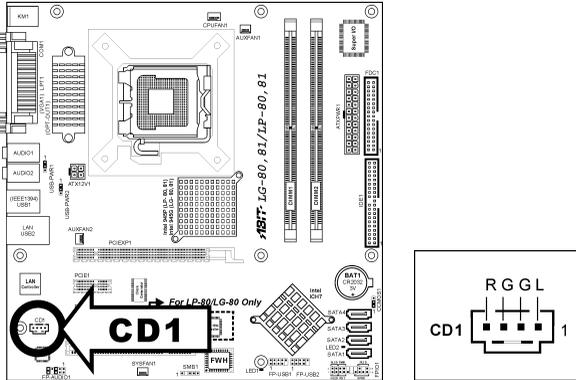
これらのヘッダは延長ケーブルとブラケットを通して、それぞれ2つの追加 USB 2.0 ポートを提供します。



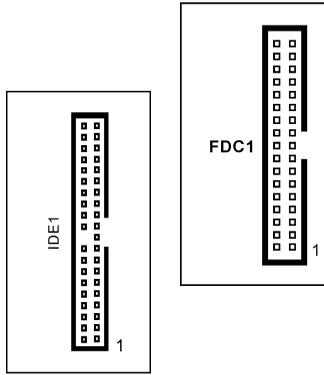
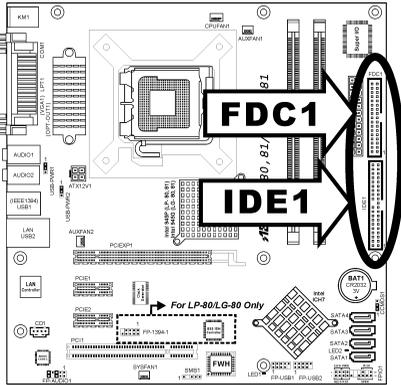
	ピン番号	ピン割り当て	ピン番号	ピン割り当て
	1	VCC	2	VCC
	3	データ 0 -	4	データ 1 -
	5	データ 0 +	6	データ 1 +
	7	アース	8	アース
	9	NC	10	NC

(10). 内部オーディオコネクタ

このコネクタは、内部 CD-ROM ドライブまたはアドオンカードのオーディオ出力に接続されています。



(11). フロッピーと IDE ディスクドライブコネクタ

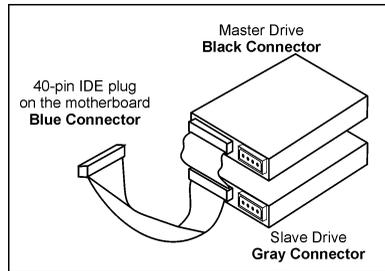


FDC1 コネクタは 34 ワイヤ、2 コネクタフロッピーケーブルで最大 2 つのフロッピードライブを接続することができます。リボンケーブルの長い方にある 1 つのコネクタをボードの FDC1 に接続し、もう片方の 2 つのコネクタをフロッピーディスクドライブに接続してください。通常、システムに必要なフロッピーディスクドライブは 1 つだけです。

注: リボンケーブルの赤い線は FDC1 ポートとフロッピーコネクタの両方のピン 1 に合わせる必要があります。

各 IDE ポートコネクタには、40 ピン、80 コンダクタ、3 コネクタの Ultra ATA/66 リボンケーブルを使って Ultra ATA/100 モードで最大 2 つの IDE ドライブを接続することができます。

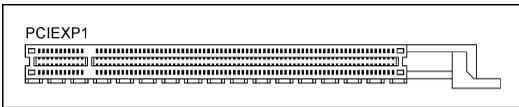
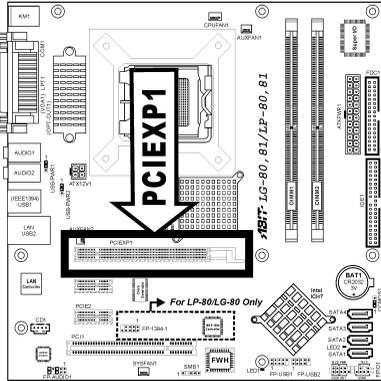
リボンケーブルの長い方の端 (青いコネクタ) をこのボードの IDE ポートに接続し、短い方の端に付いた 2 つのコネクタ (灰色と黒のコネクタ) をハードドライブのコネクタに接続してください。



注: リボンケーブルで 2 つのドライブを接続する前に、"Master" と "Slave" 関係を設定してください。リボンケーブルの赤い線は IDE ポートとハードドライブコネクタの両方のピン 1 に合わせる必要があります。

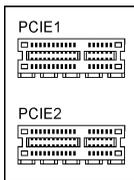
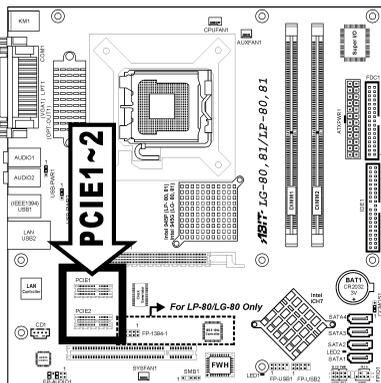
(12). PCI Express X16 スロット

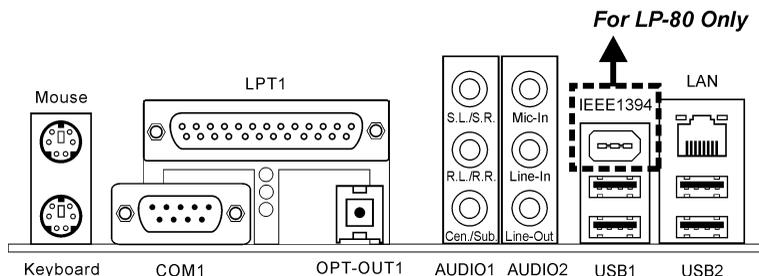
このスロットは、次世代のグラフィック・アーキテクチャ接続用です。



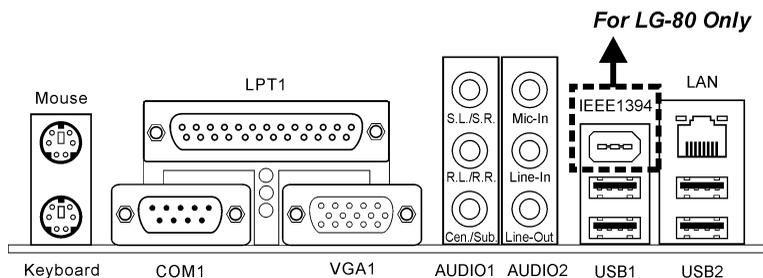
(13). PCI Express X1 スロット

これらのスロットは、次世代の I/O アーキテクチャ接続用です。



(14) バックパネルのコネクタLP-80/LP-81:

- **マウス** : PS/2 マウスに接続します。
- **キーボード** : PS/2 キーボードに接続します。
- **LPT1** : この通信プロトコルをサポートするプリンタやその他のデバイスに接続します。
- **COM1** : この通信プロトコルをサポートする外部モデム、マウスまたはその他のデバイスに接続します。
- **OPT-OUT1** : このコネクタは、光ファイバを通してデジタルマルチメディアデバイスへのS/PDIFアウト接続を提供します。
- **AUDIO1** :
S.L./S.R. (サラウンド左/サラウンド右) : サラウンド左とサラウンド右チャンネルを7.1チャンネルオーディオシステムに接続してください。
R.L./R.R. (背面左 / 背面右) : 7.1チャンネルのオーディオシステムの背面左および背面右チャンネルに接続します。
Cen./Sub. (センター / サブウーファ) : 7.1チャンネルのオーディオシステムのセンターおよびサブウーファチャンネルに接続します。
- **AUDIO2** :
Mic-In : 外部マイクからプラグに接続します。
Line-In : 外部オーディオソースからラインアウトに接続します。
Line-Out : 5.1チャンネルまたは通常の2チャンネルオーディオシステムの前面左と前面右チャンネルに接続します。
- **IEEE1394** : IEEE1394プロトコルのデバイスに接続します (*LP-80 専用です*)。
- **LAN** : 構内通信網 (LAN) に接続します。
- **USB1/USB2** : スキャナ、デジタルスピーカー、モニタ、マウス、キーボード、ハブ、デジタルカメラ、ジョイスティックなどのUSBデバイスに接続します。

LG-80/LG-81:

- **マウス** : PS/2 マウスに接続します。
- **キーボード** : PS/2 キーボードに接続します。
- **LPT1** : この通信プロトコルをサポートするプリンタやその他のデバイスに接続します。
- **COM1** : この通信プロトコルをサポートする外部モデム、マウスまたはその他のデバイスに接続します。
- **VGA1** : モニターの入力に接続する。
- **AUDIO1** :
S.L./S.R. (サラウンド左/サラウンド右) : サラウンド左とサラウンド右チャンネルを 7.1 チャンネルオーディオシステムに接続してください。
R.L./R.R. (背面左 / 背面右) : 7.1 チャンネルのオーディオシステムの背面左および背面右チャンネルに接続します。
Cen./Sub. (センター / サブウーファ) : 7.1 チャンネルのオーディオシステムのセンターおよびサブウーファチャンネルに接続します。
- **AUDIO2** :
Mic-In : 外部マイクからプラグに接続します。
Line-In : 外部オーディオソースからラインアウトに接続します。
Line-Out : 7.1 チャンネルまたは通常の 2 チャンネルオーディオシステムの前面左と前面右チャンネルに接続します。
- **IEEE1394** : IEEE1394 プロトコルのデバイスに接続します (LG-80 専用です)。
- **LAN** : 構内通信網 (LAN) に接続します。
- **USB1/USB2** : スキャナ、デジタルスピーカー、モニタ、マウス、キーボード、ハブ、デジタルカメラ、ジョイスティックなどの USB デバイスに接続します。



第3章 BIOS について

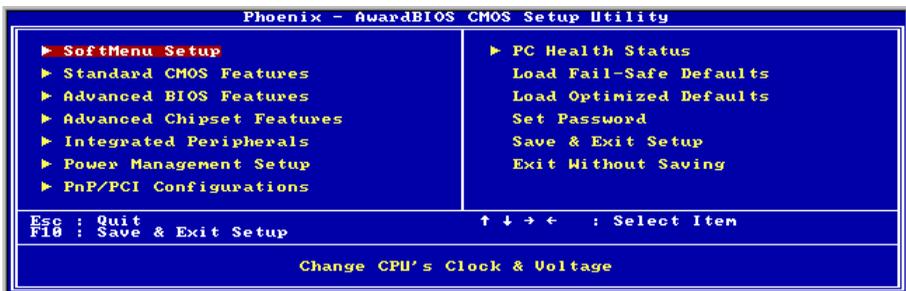
このマザーボードはプログラム可能な EEPROM を提供し、BIOS ユーティリティを更新することができます。BIOS (基本入出力システム)はプロセッサと周辺装置の間で通信の基本レベルを処理するプログラムです。マザーボードを取り付けたり、システムを再構成したり、“セットアップの実行”を指示するときだけに、BIOS セットアッププログラムを使用します。本章では、BIOS ユーティリティのセットアップユーティリティを説明します。

システムの電源をオンにすると、BIOS メッセージが画面に表示され、メモリがカウントを開始し、次のメッセージが画面に表示されます。

PRESS DEL TO ENTER SETUP

応答する前にメッセージが消えたら、<Ctrl>+<Alt>+キーを押すか、コンピュータシャーシのリセットボタンを押してシステムを再起動します。これらの2つの方法が失敗した場合のみ、電源をオフにした後またオンにしてシステムを再起動することができます。

キーを押した後、メインメニュー画面が表示されます。



注：システムの安定性と性能を高めるために、当社の技術陣が BIOS メニューを絶えず改良しています。BIOS セットアップ画面と本書で示した説明は参照のためのもので、画面に表示されるものと完全に一致しないこともあります。



第4章 ドライバのインストール

必要なすべてのドライバは、マザーボードに付属するドライバとユーティリティ CD に含まれています。ドライバとユーティリティ CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、次の図に示されるディスプレイが直ちに表示されます。表示されない場合、 → [マイコンピュータ] → [CD-ROM] ドライブ → に移動し、[autorun.exe] をダブルクリックしてください。オンスクリーンの指示に従ってください。

4-1. セットアップアイテム

- **Intel チップセットソフトウェアユーティリティ**
Windows オペレーティングシステム用の Intel チップセットソフトウェアユーティリティをインストールします。
- **オーディオドライバ**
Windows オペレーティングシステム用のオンボードオーディオドライバをインストールします。
- **VGA ドライバ**
Windows オペレーティングシステム用のオンボードVGA ドライバをインストールします。
- **LAN ドライバ**
Windows オペレーティングシステム用のオンボードLAN ドライバをインストールします。
- **USB 2.0 ドライバ**
Windows アップデートプログラムを通して、Windows 2000/XP オペレーティングシステムを更新します。
- **マニュアル**
PDF ファイルでユーザーズマニュアルを表示します。
- **ユーティリティ**
Acrobat Reader、DirectX、LoFormat ユーティリティのようなソフトウェアをインストールするには、サブ画面をクリックしてください。
- **ABIT ユーティリティ**
Flash メニュー (BIOS 更新ユーティリティ)や Hardware Doctor のようなユーティリティをインストールするには、サブ画面をクリックします。
- **CD の閲覧**
この CD-ROM のコンテンツを閲覧します。
- **閉じる**
CD セットアップアイテムのメニューを終了します。

付録 A. トラブルシューティング

Q & A:

Q: 新しい PC システムを組み立てるときに CMOS をクリアする必要がありますか?

A: はい、新しいマザーボードを装着する際に、CMOS をクリアすることを強くお勧めします。CMOS ジャンパをデフォルトの 1-2 のポジションから 2-3 のポジションに移し、2,3 秒待ち、そして元に戻してください。システムをはじめて起動するとき、ユーザーズマニュアルを参照し、Load Optimized Default を呼び込んでください。

Q: BIOS 更新中にハングアップしてしまったり、間違った CPU パラメータを設定してしまった場合にはどうしたらよいでしょうか?

A: BIOS 更新の失敗や、CPU パラメータ設定間違いによるシステムのハングアップするときは、常に CMOS クリアを行ってサイド起動させてみてください。

Q: 機械の電源を切ったすぐ後に、システムが起動しないのですが?

A: 電源を切った後は、最低 30 秒間待ってから再度電源を入れてください。

Q: BIOS 内部でオーバークロックまたは非標準の設定を試みると、システムを起動できず、画面に何も表示されません。メインボードが故障したのですか? メインボードを販売店に返却する必要がありますか、または RMA プロセスを行うべきですか?

A. 一部の BIOS 設定をデフォルトからオーバークロックまたは非標準の状態に変更しても、ハードウェアまたはメインボードが永久的に損傷する原因とはなりません。当社では、次の 3 つのトラブルシューティングによって CMOS データを放電し、ハードウェアのデフォルトの状態に回復するようにお勧めします。これにより、メインボードが再び機能し、ユーザーの方がわざわざメインボードをお買い上げ時点の設定に戻したり、RMA プロセスを実行する必要はなくなります。

1. 電源装置の電源をオフにし、1 分後に再びオンにします。電源がオンにならない場合、電源コードを抜いて 1 分後に差し込んでください。キーボードの<Insert>キーを押したまま、電源オンボタンを押してシステムを起動します。正常に起動したら、<Insert>キーを離し、<Delete>キーを押して BIOS セットアップページに入って正しい設定を行います。それでも問題が解決しない場合、ステップ 1 を 3 度繰り返すか、ステップ 2 を試みてください。
2. 電源装置の電源をオフにするか電源コードを抜いて、シャーシを開けます。電池の傍に CCMOS ジャンパがあります。ジャンパ位置をデフォルトの 1-2 から 2-3 に 1 分間変更して CMOS データを放電し、再びデフォルトの 1-2 に戻します。シャーシを閉じ、電源装置の電源をオンにするか、電源コードを差し込みます。電源オンボタンを押して、システムを起動します。正常に起動したら、<Delete>キーを押して BIOS セットアップページに入って、正しい設定を行います。それでも問題が解決しない場合、ステップ 3 を試みてください。
3. ステップ 2 と同じ手順で、メインボードから ATX 電源コネクタを抜き、CMOS が放電している間にメインボードの電池を取り外します。

Q: テクニカルサポートからの迅速な回答をえるにはどうしたらよいですか?

A: このマニュアルの章にある、テクニカルサポートフォームの記述内容に従って記述してください。

動作に問題がある場合、弊社のテクニカルサポートチームが問題をすばやく特定して適切なアドバイスができるよう、テクニカルサポート用紙には、問題に関係のない周辺機器を記入せず、重要な周辺機器のみを記入してください。記入後は、テクニカルサポートから回答を得られるよう、製品を購入したディーラーまたは販売店に Fax してください（下の例を参照してください）。

例 1： マザーボード（CPU、DRAM、COAST などを含む）、HDD、CD-ROM、FDD、VGA CARD、VGA カード、MPEG カード、SCSI カード、サウンドカードなどを含むシステムが起動できない場合、以下の手順に従ってシステムの主なコンポーネントをチェックしてください。最初に、VGA カード以外のすべてのインタフェースカードを取り外して再起動してください。

それでも起動しない場合：

他のブランドまたはモデルの VGA カードをインストールして、システムが起動するかどうか試してみてください。それでも起動しない場合は、テクニカルサポート用紙（主な注意事項参照）に VGA カードのモデル名、マザーボードのモデル名、BIOS の ID 番号、CPU の種類を記入し、「**問題の説明**」欄に問題についての詳しい説明を記入してください。

起動する場合：

取り除いたインタフェースカードを 1 つ 1 つ元に戻しながら、システムが起動しなくなるまでシステムの起動をチェックしてください。VGA カードと問題の原因となったインタフェースカードを残して、その他のカードおよび周辺機器を取り外して、システムを再び起動してください。それでも起動しない場合、「その他のカード」の欄に 2 枚のカードに関する情報を記入してください。なお、マザーボードのモデル名、バージョン、BIOS の ID 番号、CPU の種類（主な注意事項参照）、および問題についての詳しい説明を記入するのを忘れないでください。

例 2： マザーボード（CPU、DRAM、COAST などを含む）、HDD、CD-ROM、FDD、VGA カード、LAN カード、MPEG カード、SCSI カード、サウンドカードなどを含むシステムで、サウンドカードのドライバのインストール後、システムを再起動したり、サウンドカードのドライバを実行したりすると自動的にリセットしてしまう場合、問題はサウンドカードのドライバにあるかもしれません。DOS の起動の途中で、SHIFT キーを押して CONFIG.SYS と AUTOEXEC.BAT を省略してください。また、テキストエディタで CONFIG.SYS を修正してください。サウンドカードのドライバをロードする行にリマーク REM を追加すると、サウンドカードのドライバを OFF にできます。下の例をご覧ください。

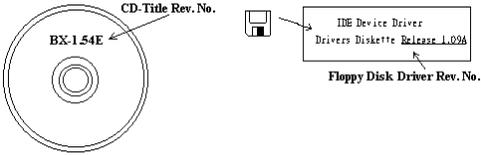
```
CONFIG.SYS:
DEVICE=C:\DOS\HIMEM.SYS
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE HIGHSCAN
DOS=HIGH, UMB
FILES=40
BUFFERS=36
REM DEVICEHIGH=C:\PLUGPLAY\DWCFMG.SYS
LASTDRIVE=Z
```

システムを再起動してみてください。システムが起動してリセットしない場合、問題はサウンドカードのドライバにあることがわかります。テクニカルサポート用紙（主な注意事項参照）にサウンドカードのモデル名、マザーボードのモデル名、BIOS の ID 番号を記入し、「問題の説明」欄に詳しい説明を記入してください。

テクニカルサポートフォームの記述の仕方について説明します。

主な注意事項...

[テクニカルサポート用紙] に必要事項を記入する場合、次の注意事項を守ってください。

- 1* **モデル名** : ユーザーマニュアルに記されているモデル名を記入します。
例 : LG-80, LG-81, LP-80, LP-81
- 2* **マザーボードのモデル番号 (REV)** : マザーボードに [REV:*]**] と記されているマザーボードのモデル番号を記入してください。
例 : REV: 1.00
- 3* **BIOS ID および部品番号** : オンスクリーンのメッセージをご覧ください。
4. **ドライババージョン** : デバイスドライバのディスク (もしあれば) に [Release *.*]**] などと記されているバージョン番号を記入します。

- 5* **OS/アプリケーション** : 使用している OS およびシステムで起動しているアプリケーションを記入します。
例 : MS-DOS® 6.22、Windows® 95、Windows® NT...
- 6* **CPU** : CPU のメーカー名および速度 (MHz) を記入します。
例 : (A) [メーカー名] の欄には [Intel]、[仕様] の欄には [Pentium® 4 1.9GHz] と記入します。
7. **HDD** : HDD のメーカー名、仕様、IDE1 および IDE2 のどちらで使用しているかを記入します。ディスク容量がわかる場合には容量を記入し、 をチェック (“✓”) してください。チェックがない場合は、IDE1] マスターとみなします。
例 : [HDD] の欄のボックスをチェックし、メーカー名には [Seagate]、仕様の欄には [ST31621A (1.6GB)] と記入します。
8. **CD-ROM ドライブ** : CD-ROM ドライブのメーカー名、仕様、IDE1 および IDE2 のどちらで使用しているかを記入します。また、“” をチェック (“✓”) してください。チェックがない場合は、“IDE2”マスターとみなします。
例 : “CD-ROM ドライブ” の欄のボックスをチェックし、メーカー名には “Mitsumi”、仕様の欄には “FX-400D” と記入します。
9. **システムメモリ (DDR SDRAM)** : システムメモリのブランドと、密度、説明、モジュールコンポーネント、モジュール部品番号、CAS レイテンシ、速度 (MHz) のような、仕様 (DDR DIMM) を示します。たとえば、ブランドスペースに、「Micron」と記述し、仕様スペースに以下のように記述します。
密度: 128MB、説明: SS 16 Megx72 2.5V ECC ゴールド、モジュールコンポーネント: (9) 16 Megx 8、モジュール部品番号: MT9VDDT1672AG、CAS レイテンシ: 2、速度 (MHz): 200 MHz。
お使いの DDR SDRAM の詳細な情報をお知らせください。発生した問題をシミュレートする上で大いに役に立ちます。
10. **その他のカード** : 問題に関係しているのが “絶対確実である” カードを記入します。
問題の原因が特定できない場合は、システムに搭載しているすべてのカードを記入してください。

注意 : [*] の項目は必ず記入してください。

付録 B. テクニカルサポートの受け方について

(ホームページ) <http://www.abit.com.tw>

(米国) <http://www.abit-usa.com>

(ヨーロッパ) <http://www.abit.nl>

ABIT 社の製品をお買い上げいただきありがとうございます。ABIT はディストリビュータ、リセラー、システムインテグレータを通じて製品を販売させていただいておりますため、エンドユーザーの皆様へ直接製品を販売することはありません。弊社テクニカルサポート部へお問い合わせいただく前に、お客様のシステムを構築したリセラーかシステムインテグレータにお問い合わせいただく方が、より適切なアドバイスを受けることができます。

ABIT ではお客様に常に最高のサービスを提供したいと願っております。弊社はお客様への迅速な対応を最優先に考えておりますが、毎日世界各国からの電話や電子メールによる問い合わせが殺到しておりますため、すべてのご質問にお答えすることができない状況です。したがって、電子メールでお問い合わせいただきましてもご返答できない場合がありますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

ABIT は最高の品質と互換性の高い製品を提供するために、互換性や信頼性に関するテストを重ねております。万一サービスやテクニカルサポートが必要となりました場合には、**まずリセラーかシステムインテグレータにお問い合わせください。**

できるだけ早く問題を解決するために、以下に説明します処理を行ってみてください。それでも問題を解決できない場合には、弊社のテクニカルサポートへお問い合わせください。より多くのお客様に、より質の高いサービスを提供するために、皆様のご協力をお願いします。

1. **マニュアルをお読みください。** マニュアルの作成には万全の注を払い、どなたにもお分かりいただけるように説明してあります。意外と簡単なことを見落としている場合もありますので、再度マニュアルをよくお読みください。マニュアルにはマザーボード以外にも重要な情報が記載されています。マザーボードに同梱されている CD-ROM には、ドライブのほかにマニュアルの電子ファイルも格納されています。必要であれば、弊社の Web サイトまたは FTP サーバより、ファイルをダウンロードすることもできます。
2. **最新の BIOS、ソフトウェア、ドライバをダウンロードしてください。** 弊社の Web サイトをご覧ください。また周辺機器のメーカーにお問い合わせになり、**最新バージョンのドライバをインストールしてください。**

3. **Web サイト上の専門用語集および FAQ（よく聞かれる質問）をお読みください。** 弊社では今後も引き続き FAQ を充実させていく予定です。皆様のご意見をお待ちいたしております。また新しいトピックにつきましては、HOT FAQ をご覧ください。
4. **インターネットニュースグループをご利用ください。** ここには貴重な情報が数多く寄せられます。ABIT Internet News グループ (alt.comp.peripherals.mainboard.abit) はユーザどうしで情報を交換したり、それぞれの経験を語り合ったりするために設置されたフォーラムです。たいていの場合、知りたい情報はこのニュースグループ上にすでに記載されています。これは一般に公開されているインターネットニュースグループであり、無料で参加することができます。ほかにも次のようなニュースグループがあります。

alt.comp.peripherals.mainboard.abit

alt.comp.peripherals.mainboard

comp.sys.ibm.pc.hardware.chips

alt.comp.hardware.overclocking

alt.comp.hardware.homebuilt

alt.comp.hardware.pc-homebuilt

5. **リセラーへお問い合わせください。** 技術的な問題につきましては、ABIT が認定したディストリビュータにお尋ねください。弊社の製品はディストリビュータからリセラーや小売店へ配送されます。リセラーはお客様のシステムの構成内容をよく理解していますので、お客様が抱える問題をより効率よく解決できるはずです。お客様が受けられるサービス内容によって、お客様が今後もそのリセラーと取り引きを続けていきたいかどうかを判断する材料にもなります。万一問題を解決できない場合は、状況に応じて何らかの対応策が用意されているはずです。詳しくはリセラーにお尋ねください。
6. **ABIT へお問い合わせください。** ABIT へ直接お尋ねになりたいことがございましたら、テクニカルサポート部へ電子メールをお送りください。まず、お近くの ABIT 支店のサポートチームにお問い合わせください。地域の状況や問題、またリセラーがどのような製品とサービスを提供しているかは、地域により全く異なります。ABIT 本社には毎日世界各国から膨大な量の問い合わせが殺到しておりますため、すべてのお客様のご質問にお答えすることができない状況です。弊社ではディストリビュータを通じて製品を販売いたしておりますため、すべてのエンドユーザの皆様にサービスを提供することができません。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。また、弊社のテクニカルサポート部に質問をお寄せになる際は、問題点を英語でできるだけ分かりやすく、簡潔に記載していただき、必ずシステム構成部品のリストしてください。お問い合わせ先は次の通りです。

北米、南米 *ABIT Computer (U.S.A.) Corporation*
45531 Northport Loop West, Fremont CA, 94538,
U.S.A.
電話: 1-510-623-0500
ファックス: 1-510-623-1092
営業: sales@abit-usa.com
南米営業: ventas@abit-usa.com
マーケティング: marketing@abit-usa.com
ウェブサイト: <http://www.abit-usa.com>
RMA センター: <http://rma.abit-usa.com>

英国、アイルランド *ABIT Computer (U.K.) Corporation Ltd.*
Unit 3, 24-26 Boulton Road, Stevenage,
Herts SG1 4QX, UK
電話: 44-1438-228888
ファックス: 44-1438-226333
電子メール: sales@abitcomputer.co.uk

ドイツ、ベネルクス (ベルギー、オランダ、ルクセンブルク)、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、スイス *AMOR Computer B.V. (ABIT's European Office)*
Jan van Riebeeckweg 15, 5928LG, Venlo,
The Netherlands
電話: 31-77-3204428
ファックス: 31-77-3204420
営業: sales@abit.nl
ウェブサイト: <http://www.abit.nl>

オーストリア、チェコ、ルーマニア、ブルガリア、スロバキア、クロアチア、ボスニア、セルビア、マケドニア *Asguard Computer Ges.m.b.H*
Schmalbachstrasse 5,
A-2201 Gerasdorf / Wien, Austria
電話: 43-1-7346709
ファックス: 43-1-7346713
電子メール: asguard@asguard.at

上海 *ABIT Computer (Shanghai) Co. Ltd.*
電話: 86-21-6235-1829
ファックス: 86-21-6235-1832
ウェブサイト: <http://www.abit.com.cn>

ロシア、CIS **ABIT Computer (Russia) Co. Ltd.**
営業: sales@abit.ru
Info: info@abit.ru
ウェブサイト: <http://www.abit.ru>

ポーランド **ABIT Computer (Poland) Co. Ltd.**
Przedstawicielstwo w Polsce ul. Wita Stwosza 28,
50-149 Wrocław
電話: 48 71 780 78 65 / 66
ファックス: 48 71 372 30 87

日本 ウェブサイト: <http://www.abit4u.jp>

台湾本社 **ABIT Computer Corporation**
(上記以外の地域へのサービス
台湾は8+ GMT 時間で
お客様の地域とは休日異なる
可能性があります。)
No. 323, Yang Guang St.,
Neihu, Taipei, 114, Taiwan
電話: 886-2-8751-8888
ファックス: 886-2-8751-3382
営業: sales@abit.com.tw
マーケティング: market@abit.com.tw
ウェブサイト: <http://www.abit.com.tw>

7. **RMA サービスについて。**新しくソフトウェアやハードウェアを追加していないのに、今まで動いていたシステムが突然動かなくなった場合は、コンポーネントの故障が考えられます。このような場合は、製品を購入されたリセラーにお問い合わせください。RMA サービスを受けることができます。
8. **8. 互換性に関する問題がある場合は ABIT へご一報ください。**弊社に寄せられるさまざまな質問の中でも ABIT が特に重視しているタイプの質問があります。互換性に関する問題もその1つです。互換性がないために問題が発生していると思われる場合は、システムの構成内容、エラーの状態をできるだけ詳しくお書きください。その他のご質問につきましては、申し訳ございませんが直接お答えできない場合があります。お客様がお知りになりたい情報は、インターネットニュースグループにポストされていることがありますので、定期的にニュースグループをお読みください。

ありがとうございました。

ABIT Computer Corporation

<http://www.abit.com.tw>